

【都筑区】令和5年第1回区づくり推進横浜市会議員会議 議事録

開催日時	令和5年2月14日（火）10：00～
場 所	6階大会議室
出席者	<p>【座長】望月高德 議員</p> <p>【議員：4名】草間剛 議員、長谷川琢磨 議員、藤居芳明 議員、 斎藤真二 議員</p> <p>【都筑区：31名】佐藤友也 区長、戸倉隆一 副区長、深澤義一 災害対策担当部長（都筑消防署長）、林千賀 福祉保健センター長、繁野芳彰 福祉保健センター担当部長、谷津毅 都筑土木事務所長 ほか関係職員</p>
議 題	令和5年度 個性ある区づくり推進費 予算案について
発言の 要 旨	<p>【マスクの使用について】</p> <p>草間議員・望月議員：3月13日以降マスクの着用が個人の判断になるが、区として区民や職員への対応はどうするのか。</p> <p>佐藤区長：市として指針がでると思われるので、その指針を待ちつつ対応していきたい。</p> <p>草間議員：お子さんが多い地域でもあるので、SNSなども通じて積極的に広報して行ってほしい。</p> <p>【不登校について】</p> <p>草間議員：不登校問題に対してどのように対策していくか。都筑区にはすでに支援団体もあるので、先行して取り組むべきではないか。</p> <p>佐藤区長：地域で活動されている団体や、不登校対策に係る事業を展開している教育委員会などと連携が図れるよう対応していきたい。</p> <p>草間議員：都筑区の不登校の状況をどのように把握しているか。</p> <p>清こども家庭支援課学校連携・こども担当課長：都筑区内でも不登校の件数は増えているだろうと推測しており、寄り添った対応をしていく。</p>

【区民まつりについて】

草間議員：来年度の区民まつりはどのように実施するのか。今年度はかなり密集して非常に危険だったので、分散させた方がよいのではないか。

倉田地域振興課長：当面の間はセンター南で開催するというのが区民まつりあり方検討分科会の委員の総意であるが、地域活動や商店街などと連携しながら、センター南開催に限定しないまつりのあり方も模索していこうという話もでていっている。安全対策については今年度の開催状況も踏まえ、引き続きしっかり実施していきたい。

【横浜ビー・コルセアーズを活かしたホームタウン活動推進事業について】

草間議員：予算額が大幅に増えているがなぜか。

倉田地域振興課長：これまでは区をあげてビー・コルセアーズを応援することを趣旨にした事業だったが、来年度からはビー・コルセアーズと更に連携を深め、誰もがスポーツの楽しさを味わえる機会づくりや街の賑わいづくりを目的とする事業を転換した。それに伴い、事業の組み替えを行ったため、予算増になっている。

【災害時のペット対策について】

草間議員：先日防災拠点訓練に実際に参加してきたが、現状の防災拠点のペット対策には無理があると感じるがいかがか。より積極的に拠点の現状を広報したほうがよいのではないか。

河野生活衛生課長：第一に在宅で避難生活を送れるような備えを啓発しており、拠点に避難する場合の備えも併せて行っていただきたいと思っている。現状の防災拠点がどのような状況であるかということを広報していきたい。

【都筑区役所の食堂について】

草間議員：6階の食堂が撤退したが、今後はどうするのか。

佐藤総務課長：今後については現在検討段階。市民局とも連携しながら進めていきたい。

【子育て関連予算について】

藤居議員：横浜市の中期計画では子育てを基本戦略の一つとして掲げているが、個性ある区づくり推進費の子育て関連の予算は減っている。個性ある区づくり推進費の予算編成では中期計画をどのような位置づけと捉えているか。

佐藤区長：来年度は印刷製本費を計上しなかったために減額している部分もあるが、ニーズの高い両親教室等の回数は増やしている。子育て支援にはこれまでと変わらずに力を入れている。

藤居議員：子育てに係る区民の意見を聞く予算も必要と感じているが、どのように考えているか。

佐藤区長：ご意見・ご要望は受け止めながら事業を行っている。局とも連携しながら、区として工夫しながら対応していく。

【危機管理対策推進事業について】

藤居議員：Jアラートは有事の際にきちんと機能するのか。また、区民へはどのように周知していくのか。

佐藤総務課長：放送機能についてはきちんと試験を行う。また、広報よこはまやホームページ、町内会や区連会で周知していく。

【自治会町内会について】

長谷川議員：自治会町内会加入率がとても低いですが、どのように捉えているか。

倉田地域振興課長：都筑区は転出入が多く、比較的若い世代の転入者に加えてもらうことが難しい傾向にある。今年度は戸籍課と連携して転入者アンケートを実施し、一定のニーズを把握できた。そこも踏まえて新年度事業を展開していきたい。

長谷川議員：自治会町内会のオンライン開催や連絡手段のデジタル化も重要だが、顔が見える関係づくりも重要。しっかりと取り組んでほしい。

【災害時の要援護者支援について】

長谷川議員：災害時要援護者支援の方向性はどうか。対象となっていない人にもしっかり力をいれてほしい。

佐藤区長：都筑区でも災害時要援護者名簿が共有されていない状況もあるので、そういったこともすすめていきながら、災害時の体制を

考えていきたい。

【妊娠期から学齢期までの切れ目のない子育て支援事業について】

斎藤議員：「切れ目のない支援」とはどのようなイメージか。

安藤こども家庭支援課長：母子手帳を交付し、看護職面接を行ってから支援がスタートしている。出生後は、母子相談や母子訪問、各種健診の際にも相談やニーズを聞き取って支援につなげることも重要と考えている。ニーズに応じて来年度赤ちゃん会の回数も増やしている。

【まちづくり総合調整事業について】

斎藤議員：あゆみが丘の市有地の利活用とは。

黒澤区政推進課長：この市有地の利活用は数十年と進んでこなかったが、改めて進めていこうと動き出している。住民との説明会や、サウンディング調査も行い民間事業者に意見を伺っている。これからの方向性を総合的に検討していきたい。

【災害にそなえる自助・共助の推進事業】

斎藤議員：防災マップの多言語化とあるが、どのマップを指しているのか。

佐藤総務課長：転入者等に配布をしている都筑区防災生活マップの多言語化を行い、ホームページに掲載予定。

斎藤議員：ぜひ今年度配布した浸水ハザードマップの多言語化も行ってほしい。

【区民文化センターについて】

望月議員：区民文化センターが新設されることによる周辺の混雑を懸念しているので、しっかり対応してほしい。

【防犯灯について】

望月議員：住宅街に防犯灯が少ないといった声があり、設置台数を増やせないかといった要望があるのでお伝えする。

【自転車の利用について】

望月議員：歩道や緑道において、自転車優先のような乗り方をしている人

もいるように聞いているので、引き続き注意喚起してほしい。

【街路樹について】

望月議員：区ができたところに植栽した樹木が根上がりしてきて、傷んでいる歩道が見受けられる。また、電線に木がひっかかっていることもあり、都度対応していただいているが、街路樹の維持管理はどのように行っているのか。適切に対応してほしい。

長嶋土木事務所副所長：樹木の成長具合や場所に応じて、数年ごとに剪定している。

斎藤議員：車に乗っていると植栽で見通しが悪いところもあるので、都度要望させていただく。

【「財政ビジョン」を踏まえた予算編成について】

望月議員：「財政ビジョン」が策定された中で、どのように個性ある区づくり推進費を予算編成したのか。

佐藤区長：デジタルで提供できる紙媒体は大幅に見直し、印刷製本費を減らした。また、局予算を活用できるものは活用し、自主企画事業費をより有効に使うことに力点を置いて予算編成を行った。

備 考